

第3回クビアカツヤカミキリ防除対策強化検討会の概要 (令和8年2月3日開催)

本検討会においては、有識者、都道府県及び関係省庁を参集した上で、本年度、6府県で実施されたビアカツヤカミキリ防除対策に係る令和7年度実証の実績について共有・検討を実施した。

1. 本検討会の参加者について

本検討会では、有識者4名を始めとして都道府県、環境省（地方機関含む）、林野庁、農林水産省（地方機関含む）から236名の参加があった。（対面及びwebの併用開催）。

2. 実証実績の報告について

果樹産地におけるクビアカツヤカミキリの防除体系確立の実証について、実証を実施した6府県（埼玉県、兵庫県、京都府、奈良県、和歌山県及び徳島県）から、

- ・産卵防止のためのネット巻き等の現場での実行性とその有効性
- ・地域住民が参画した協力体制の構築

等について報告。

有識者からは、当該情報は防除対策として有効な情報であるとし、各都道府県に共有することが適当との意見があった。

3. 今後の実証について

有識者からは、単年度の実績をもって防除体系の有効性を評価するのは難しいことから、実証を継続的に実施することにより実績を重ねることが重要との意見があった。

このことを踏まえ、次回のクビアカツヤカミキリ防除対策強化検討会では、都道府県から提出される実証計画を十分検証することとなった。

以上